



# 経営学専攻

主なリサーチ・ペーパー(RP)、修士論文、博士論文のタイトル、教員一覧

医療経済マネジメントコース所属教員

経営者コース所属教員

## 経営系

- RP** 中小企業が気づかないコアコンピタンス  
—名古屋市に実在する小企業から考察する—
- 修論** デジタルスポーツ観戦者の観戦動機に着目した  
構造分析—スポーツの観戦動機因子を用いて—
- 修論** ソーシャル・アントレプレナーによる社会的価値の創造  
—事例から見るソーシャル・イノベーションの創出と普及—
- 博論** 鉄道と百貨店—業態内変容のメカニズム—
- 博論** 商品アイデア創造に関わる個人特性と組織特性の  
機能的関係



**鶴飼 宏成**

専門分野：ベンチャービジネス論  
アントレプレナーシップ

担当科目：経営原理、企業論

現在の研究課題：アントレプレナーシップ教育プログラムの開発と教育評価



**大神 正道**

専門分野：技術マネジメント

担当科目：技術マネジメント

現在の研究課題：企業行動と技術進化



**河合 篤男**

専門分野：経営組織論、組織革新

担当科目：経営組織  
日本企業と組織革新

現在の研究課題：企業革新に関する研究



**下野 由貴**

専門分野：経営学、国際経営  
サプライヤー・システム

担当科目：国際経営

現在の研究課題：グローバルサプライチェーン戦略



**出口 将人**

専門分野：経営戦略論、経営組織論

担当科目：経営戦略、日本企業と経営戦略

現在の研究課題：地域レベルの事業転換についての研究



**山本 奈央**

専門分野：マーケティング、消費者行動論

担当科目：マーケティング

現在の研究課題：インターネットが消費者行動に与える影響



**余合 淳**

専門分野：組織行動論、人的資源管理論

担当科目：経営管理

現在の研究課題：人事管理の公正に関する理論的・実証的研究

## 実践の背景にある理論を

経営学専攻は、企業活動のグローバル化、会計基準の国際的収斂、金融や情報技術の発展などといった、昨今の企業を取り巻く経営環境の大きな変動の中で、企業活動に関わる諸問題に経営・会計・財務・情報の立場からアプローチすることを目的としています。

本専攻は、企業経営に関する様々な問題を解決する方法を追究する「経営系」、会計情報を利用した管理・計画やその影響を分析する「会計系」、企業の財務政策や経営戦略に関わる諸問題に計量的手法で接近する「ファイナンス・情報系」といった3つの系からなります。

3つの系は企業活動の分析については互いに緊密な関係にあり、系の独自性を保ちつつ相互に関連性を持って教育・研究を行うことで、企業マネジメントや会計ファイナンスに関わる高度専門職業人や研究者の育成を目指しています。

## 会計系

- RP** リース会計基準の変更による財務情報への影響
- 修論** 確定決算主義と報告利益管理行動の分析
- 修論** バランスト・スコアカードによる戦略実行と効果測定
- 博論** 減配回避を目的とした報告利益管理行動の分析
- 博論** 経営者予想情報に対する市場の反応とガバナンス要因の分析



**奥田 真也**

専門分野：会計学

担当科目：管理会計

現在の研究課題：会計情報の質についての実証分析



**高橋 二郎**

専門分野：会計学

担当科目：財務分析

現在の研究課題：事業資産会計の構造と機能に関する理論的・実証的研究



**吉田 和生**

専門分野：財務会計

担当科目：財務会計

現在の研究課題：会計情報の研究

## ファイナンス・情報系

- RP** J-REITにおける証券市場と実物不動産市場の  
キャップレートに関する関係性の基礎的検討
- 修論** 事業投資判断に関わるRNPVロジットモデルの  
基礎的検討—火力発電設備投資を題材に—
- 修論** オープンソース開発手法について  
—ソフトウェアからハードウェアへの展開—
- 博論** 社会的責任投資(SRI)のパフォーマンスと情報開示
- 博論** ICT 活用による教育サービスの改善  
—イノベーションの普及と組織的活動—



**茨木 智**

専門分野：数理計画  
オペレーションズ・リサーチ

担当科目：オペレーションズ・リサーチ

現在の研究課題：データの分類・同定に関する研究



**白杵 政治**

専門分野：企業ファイナンス、年金論

担当科目：企業ファイナンス

現在の研究課題：金融危機の年金資産運用への影響、年金加入者の投資行動



**河合 勝彦**

専門分野：経済・経営情報学、計算経済学

担当科目：経営情報

現在の研究課題：フリー・オープンソースソフトウェアの経済分析



**坂和 秀晃**

専門分野：コーポレート・ガバナンス  
マーケット・マイクロストラクチャー

担当科目：応用企業ファイナンス

現在の研究課題：日本のコーポレート・ガバナンスに関する実証分析



**爲近 英恵**

専門分野：応用一般均衡モデル  
応用計量経済学

担当科目：数量分析

現在の研究課題：環境政策に関する実証分析



**三澤 哲也**

専門分野：統計解析、投資工学

担当科目：統計解析

現在の研究課題：プロジェクト事業投資の価値評価とリスク分析



**渡辺 直樹**

専門分野：コーポレート・ガバナンス  
証券市場

担当科目：実証ファイナンス

現在の研究課題：証券市場・企業金融に関する実証分析



VOICE 修了生の声③

## 日本の大学院で学んで

徐 晨さん  
(経営学専攻)



私が中国の大学を卒業して、日本の大学院に入学した動機は、日本人々や街、文化をもっと知りたいと思ったからです。また、社会に出て働く上で、グローバルに通用する知識を得たかったからでもあります。

本大学院には、外国人研究生制度というものがあります。この制度では、正式に大学院生になる前の一年間に、学部での授業を受けることができます。今振り返って考えると、研究生の時に学んだ知識が、大学院生としての基礎づくりになったと思います。

討論中心の大学院の授業はたいへん刺激的です。また、多くの社会人の方々も参加しているので、アカデミックな知識に加えて、彼らから実務的な知識も習得することができます。

VOICE 修了生の声④

## 柔軟なカリキュラムと ハイレベルな研究会

山田 哲弘さん  
(経営学専攻)



研究者育成という点で、名古屋市立大学大学院には2つの大きな魅力があります。

1つ目はカリキュラムの柔軟性です。現代の研究は学際的になることが多く、研究の考え方や目的に適した効率的な学習が大切です。私は会計学を専攻していますが、大学院では考え方の基礎となるファイナンスや、分析手法として不可欠な統計学などを集中的・体系的に学びました。

2つ目の魅力は第一線の研究者を招いて開催される多様な研究会です。学内外の先生方との意見交換は、ときに厳しくもありますが、自身を大きく成長させるきっかけになったと感じています。学位取得後、私は大学教員として働いています。名市大で培った研究の基礎力は掛け替えのない財産です。